



■ 創業60周年を迎えて ■



“お客様に学ぶ” 顧客第一主義で、 食空間の 『未来創造』を—

タニコー株式会社 代表取締役社長
谷口 一郎

タニコー株式会社は、昭和21年3月谷口商店を創業（建築板金からスタート）し、業務用厨房のメーカーとして今日まで60年に渡り、多くのお客様にご用命、ご信頼をいただき、成長を続けてまいりました。これもひとえに、お客様、関係各位のご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。

タニコーは、創業当時から変わらぬ“お客様に学ぶ”という、実にシンプルで、かつ、企業にとって最も重要な姿勢を貫いてまいりました。タニコーのさまざまな製品は、一つの例外もなく、お客様のお声に真摯に耳を傾け、そのご要望や想いに応えるべく誕生いたしました。そして、それを支えてきたのは、ベテランスタッフの経験と知恵、それに続く中堅、若手スタッフの自由な発想と創造力、そして、常に開発指向型の企業であり続けようとする強い意志であったと自負しております。

お客様ニーズや社会の形は、常に変化しています。ましてや近年は、そのスピードも加速度的に速くなっている中で、タニコーも、あらゆる場面で「変化」の必要性を感じ、実際に変化し続けています。例えば、お客様ニーズに俊敏に対応できる営業体制、新しい技術の導入、製品開発・提案のスピード化、顧客の安全を守る保守点検体制の強化、そして、現在、ステンレス容器をはじめ新事業開発などでも着々と成果をあげ、ステンレスの総合メーカーへの道を歩みはじめています。

タニコーは今まで、変化し続ける社会の中で、独自の技術や発想を磨いてまいりました。ただし、そうした変化、進

化は、過去の成功体験に基づくおごった一人よがりであってはなりません。今日までタニコーを支えてきた、確かな技術力も、時流を意識した自由な発想も、創造力も、すべてはお客様のお声をその源泉にしてきたことを、私たちは決して忘れてはならないのです。

食空間の『未来創造』—。タニコーは、こんな大志を抱いております。そのためには、やはり“お客様から学ぶ”ことを原点に、そのニーズに応える、全社一丸となった新しいチャレンジが不可欠です。タニコーは、今までも過去の成功体験にこだわらない発想、既成概念を打ち破るまったく新しい製品を誕生させてきた歴史があります。これからもお客様に学んだことを糧に、お客様の思いを製品という形にすることが、創業以来続くタニコーの姿勢と考えています。

日頃、タニコー製品をお使いのユーザー様、そして、これから、タニコーとのお付き合いをご検討くださっているお客様、どうか、当社社員に、皆様が今、困っていること、悩んでいること、そして、将来の夢をお話してください。タニコーは、お客様のご満足を獲得するまで、努力を惜しまないことをお約束いたします。タニコーの目指す『未来創造』とは、そうしたお客様の満足の積み重ねによってのみ、実現するものなのです。

タニコーは、“お客様に学ぶ”顧客第一主義を柱に、今後もお客様のお声に真摯に耳を傾け、過去の成功に甘んずることなく、業界のリーディングカンパニーとして美味しい笑顔の舞台を創ってまいります。